

施策の方向 VI-3 市の環境配慮の推進

指 標	目標・現状・指標がめざす方向
公用車における低公害車・低燃費車普及台数	【基準年度】 公用車への八都県市指定低公害車の保有台数 ：1,134台、導入割合 71.7% (2009年度) 【指標がめざす方向】 多いほうが良い
グリーン購入の実施状況	【目標】 川崎市グリーン購入推進方針に定める調達目標を達成すること 【基準年度】 紙類の平均：97.4%、文具類の平均：98.8% (2009年度) 【指標がめざす方向】 (割合が) 高いほうが良い
市の事務・事業に伴う温室効果ガス総排出量	【目標】 2020年度までに2008年度比20%以上削減 【基準年度】 390,778トンCO ₂ (2008年度) 【指標がめざす方向】 少ないほうが良い

目標・指標の達成状況	指標評価	方向評価
■指標：公用車における低公害車・低燃費車普及台数 ・保有している公用車は1,623台で、そのうち1,430台が九都県市指定低公害車 (対前年度：導入割合2.2%増加、対基準年度：多い)	3*	2
■指標：グリーン購入の実施状況 ・紙類の平均：98.2% (前年度：98.1%)、文具類の平均：84.2% (前年度：92.5%) (対前年度：紙類増加、文具類減少、対基準値：紙類多い、文具類少ない)	2*	
■指標：市の事務・事業に伴う温室効果ガス総排出量 ・421,285トンCO ₂ (対前年度：6,527トン減少、対基準値：多い)	1*	

[方向評価は「*」の付いた指標評価の平均値をもとに評価しています]

現 状

■公用車における低公害車・低燃費車普及台数

公用車における低公害車・低排出ガス車の積極的な導入のため、「川崎市公用車の調達、使用及び管理に関する環境対策要綱」により、市が年度ごとに定める川崎市グリーン購入推進方針のうち自動車に関する事項に基づく公用車の調達を推進しました。

■グリーン購入*の実施状況

庁内におけるグリーン購入の一層の推進を目的として、グリーン購入法に規定される川崎市の調達方針「平成14年度川崎市グリーン購入推進方針」を2002年7月に策定し、14分野154品目を対象品目として指定しました。2013年度は対象分野、品目を20分野272品目に拡大した「平成25年度川崎市グリーン購入推進方針」を策定し、グリーン購入を推進しました。

また、価格に加えて環境性能を含めて総合的に評価し、もっとも優れた製品やサービス等を選択するため、平成25年度川崎市環境配慮契約推進方針を策定し、環境に配慮した契約を推進しました。

■市の事務・事業に伴う温室効果ガス総排出量

地球温暖化対策推進計画の基本施策の一つである「市役所の率先取組の推進」にあたり、エコオフィス管理システムを活用し、データの収集や管理を行っており、2013年度の市の事務・事業に伴う温室効果ガス排出量は421,285t-CO₂となっております。内訳をみると、廃棄物焼却で166,527t-CO₂ (39.5%)、下水処理で94,170t-CO₂ (22.4%)を占めており、両方で温室効果ガス総排出量の約3分の2を占めています。